



第 707 回東京 YMCA 午餐会

「ショパンと私」

ショパンの音楽にある深い悲しみと情熱はどこからくるのだろうか。若い頃からずっと不思議だった。私が 26 歳の時、留学した米国でその核心が見出されたように思う。ショパンはあえて祖国には戻れない道を選んだ。ポーランドと朝鮮半島、ショパンと父、重なる歴史をたどってみたい。

ピアニスト 恵泉女学園大学・ルーテル学院大学非常勤講師

ちえ そん え
崔 善愛氏

【略 歴】：福岡県出身。愛知県立芸術大学卒業。同大学院修士課程修了。金城学院大学講師を経て、米国インディアナ州立大学大学院に 3 年間留学。早稲田大学第一文学部卒業。世界的巨匠ジョルジュ・シェボックにピアノソロを、ヤーノシュ・シュタルケルに室内楽を師事。留学の際、外国人登録の指紋押捺拒否を理由に「再入国」が不許可となり、永住資格をはく奪され、再入国不許可取消訴訟は高裁にて一部勝訴するも最高裁で棄却。しかし、国会・参議院法務委員会に参考人として招かれ、このときの意見陳述によって、法務大臣自ら謝罪。2000 年永住資格を 14 年ぶりに取り戻した。これまでに伊、独、マケドニア、コソボ、韓国などの国際音楽祭に招聘され、ミラノ・スカラ座首席奏者や F. アゴ스티ーニ（イ・ムジチ合唱団元コンマス）とも共演。国内では「ショパンの手紙」、「ベートーヴェン物語」コンサートを展開。2011 年より「被爆ピアノコンサート」を平和祈念大聖堂（広島）、第五福竜丸展示館（東京）、丸木美術館（埼玉）などを開催。各地で「平和・人権」の講演も多数行うなど精力的に活動しています。

【著 書】：主な著書『自分の国を問いつづけて』（岩波ブックレット）、『父とショパン』（影書房）、『ショパン～花束の中に隠された大砲』（岩波ジュニア新書）、『十字架のある風景』（いのちのこぼ社）。CD：「ZAL」（ショパン作品集）、「Piano, my Identity」（ともに発売：若林工房）他多数。

【と き】 2017 年 9 月 25 日（月） 12:00 ～13:30

【と ころ】 東京大学YMCA 〒113-0023 東京都文京区向丘 1-20-6
*東京メトロ南北線 東大前駅徒歩 0 分 改札前エレベーターをのぼってすぐ。
裏面の地図をご参照下さい。

【参加費】 3,000円（食事なし 1,500円）

【東京YMCA賛助会事務局】

TEL：03-3615-5562 / FAX：3615-5608

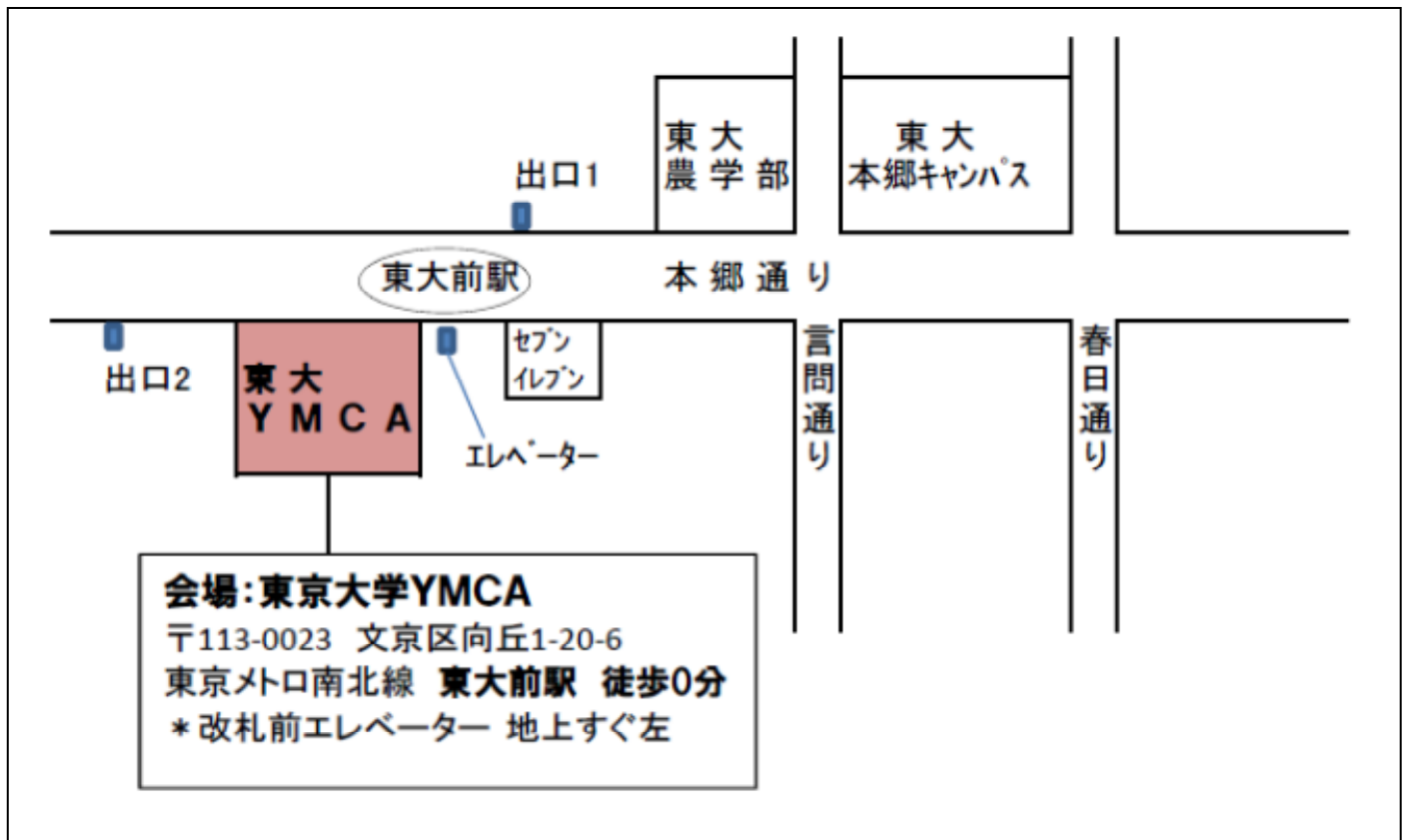
E-MAIL：sanjo@tokyoymca.org

お申し込み・お取り消しは、9 月 19 日（火）までお願いいたします。

9 月 25 日午餐会申込書 FAX:(03)3615-5608 sanjo@tokyoymca.org

- お名前： _____ E-MAIL: _____
- ご連絡先 TEL: _____ FAX: _____
- お食事： 要（¥3,000） ・ 不要（¥1,500）（○をつけて下さい）

<会場アクセス>



予 告

【10月の午餐会】

日 時: 2017年10月20日(金) 12時~13時30分

卓話者: 金子晴勇氏 (聖学院大学総合科学研究所名誉教授)

テーマ: 「宗教改革は文化の改造である」

会 場: 東京大学YMCA

【11月の午餐会】

日 時: 2017年11月20日(月) 12時~13時30分

卓話者: 勝呂 奏 氏 (桜美林大学教授・日本近代文学研究者)

テーマ: 未定

会 場: 東京大学YMCA